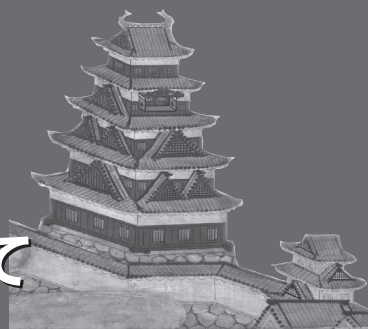


謎解き！「江戸名所図屏風」 ——制作年代、注文主、作者をめぐって



新興都市・江戸の姿を熱気たっぷりに伝える「江戸名所図屏風」。この作品については、これまで多くの研究が重ねられてきましたが、近年、特に興味深い成果が発表されています。従来、寛永年間(1624-44)のはじめと考えられることも多かった制作年代について、実は1650年頃まで下る可能性が高いこと、また、向井将監^{むかいしょうげん}邸や船遊びの描写から、注文主には同家の関係者が想定できることなどです。いずれも重要かつ魅力的な指摘ですが、これらによってすべての問題が解決したわけではありません。たとえば、どうして八曲屏風という特殊な形式が選ばれたのか？芝居小屋の活況がこれほど豊かにあらわされたのはなぜか？そして、この壮大な画面を見事に描き上げた画家は誰か？といった疑問が依然として残ります。

この講座では、「江戸名所図屏風」の研究の歴史を振り返り、どこまでが明らかになっているのか、そしてどのようなことがわかっていないのかをお話します。その上で、いくつかの謎解きに挑んでみたいと思います。

講師： 廣海伸彦(出光美術館学芸員)

学習院大学大学院人文科学研究科博士前期課程修了(美学美術史)。江戸時代の絵画史を専攻。

「勝川春章と肉筆美人画 ―くみやび― の女性像」(2016年)、「岩佐又兵衛と源氏絵 ―古典への挑戦―」(2017年)などの展覧会を担当。

講座スケジュール

2018年 9月3日(月)

① 午前10時30分～12時30分(入場午前10時より 閉場午後1時30分)

② 午後2時～4時(入場午後1時30分より 閉場午後5時)

- * いずれも講座の内容は同じです。
- * 講義レベルは、大学での講義に準じます。
- * 各回とも講座のなかで、煎茶とお菓子の休憩時間を設けております。



募集人員： 各回 先着30名

(定員になり次第締め切らせていただきます)

受講料： 2,500円(入館料・資料代/煎茶・菓子付)

会場： 出光美術館

東京都千代田区丸の内3-1-1 帝劇ビル9階
(出光美術館専用エレベーター9階)



申込方法： 当館ミュージアムショップにて事前にお申し込みください。

* 電話等での申し込みはお断りしております。

- * お申し込み時に講座日時指定の受講票をお渡しいたします。当日ご持参の上、美術館受付にてご提示ください。
- * お申し込み後の変更、キャンセルはお受けできませんので予めご了承ください。
- * その他、ご質問等ございましたら、出光美術館学芸課内、特別講座事務局までお問い合わせください。